

I 令和2年度事業報告書及び事業報告の附属明細書

(1) 事業体系

公益財団法人福岡よかトピア国際交流財団は、アジア太平洋博覧会-福岡'89の成功を記念するとともに、市民一人ひとりが多様性を認め合いながら国際的な相互理解を深める多文化共生社会の実現に寄与し、もって、地域の発展と国際平和に貢献するという当財団の目的に向けて、下記の4つの柱に基づき各種事業を実施した。

① アジア太平洋博覧会-福岡'89を記念する事業

アジア太平洋博覧会-福岡'89を記念する事業として、福岡アジア文化賞の共催及びアジア太平洋こども会議への助成を行う。

② 市民の国際交流を促進する事業

市民の国際理解・国際協力への意識の高揚を図り、国際交流を推進するため、ボランティア交流推進、語学等を通じた国際理解、国際交流団体のネットワーク推進等を行う。

③ 在住外国人及び外国人学生を支援する事業

外国人にも住みやすく活動しやすいまちにするため、窓口相談や各種情報提供をはじめ、在住外国人等への支援を行う。

また、福岡都市圏で学ぶ外国人学生が安心して勉学に励むことができるように、留学生宿舎の管理運営や外国人学生支援を行う。

④ グローバル人材を育成する事業

国際社会で活躍できるグローバル人材を育成するため、奨学金の支給や留学生と企業との交流サロン等を行う。

(2) 事業報告

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症（以下「感染症」という。）の影響により、事業の一部については、やむを得ず中止や延期を行ったものの、オンラインによる新たな取り組みや実施方法の見直し等を行うなど、次年度につながるように工夫を凝らして事業を推進した。

① アジア太平洋博覧会-福岡'89を記念する事業

ア 福岡アジア文化賞

感染症の影響により、第31回授賞式等の公式行事は、次年度に延期した。

(ア) 主 催 福岡市、(公財)福岡よかトピア国際交流財団

運営母体 福岡アジア文化賞委員会

事務局 福岡市総務企画局国際部

(イ) 内 容 文化賞30年の歴史を振り返る特設サイトの開設

イ 「アジア太平洋こども会議・イン福岡」助成

感染症の影響により、春の海外派遣事業及び秋の招へい事業は中止となったがインターネットを活用して開催された異文化交流事業「BRIDGE Summer WEB Camp2020」への助成を行った。

(ア) 主 催 NPO法人アジア太平洋こども会議・イン福岡

(イ) 開催時期 2020年5月～9月

- (ウ)内 容 オンラインパフォーマンスイベント
ブリッジ クエスチョン エクスチェンジ
OMOIYARI 絵画プロジェクト
バーチャル PA キャンプなど

② 市民の国際交流を促進する事業

ア 国際交流活動助成

福岡市民の国際交流を支援し、福岡市の国際化を推進するため、民間団体の国際交流事業等に対する助成として4団体に交付決定を行ったが、感染症の影響により、対象事業すべてが中止となった。

(ア) 国際交流活動助成

- a 助成の金額及び対象となる経費

【一般型】 助成対象経費の5割以内で、1件20万円以内

【チャレンジ応援型】助成対象経費の8割以内で、1件10万円以内

- b 募集時期 随時

(イ) 国際交流活動人材育成費助成

- a 助成の金額及び対象となる経費

助成額は、1団体につき2万円まで

対象団体の運営従事者が、当該団体の発展または目的達成のために必要とする講座・セミナー・研修会等を受講する場合の受講費用・学費、教材費、交通費、宿泊費等

- b 申請時期 受講する講座等開催日の1月前まで

イ ボランティア交流推進

国際交流ボランティア活動を促進し、市民の国際理解や国際感覚を涵養した。
また、国際交流ボランティアの拡充を検討し、新たな活動分野を設け、よりきめ細やかな外国人支援を行う「外国人支援ボランティアバンク」の創設に向け、取り組みを進めた。

(ア) ホームステイ・ホームビジット

外国人が日本の家庭に滞在・訪問することにより相互理解と友好親善を図るために、ホストファミリーを登録し、依頼に応じて紹介した。

- a 登録家庭数 84 家庭

- b 利用者数 ホームステイ 0 名
ホームビジット 7名(7 か国・地域)

(イ) 語学ボランティアの紹介

国際交流の推進と外国人支援のため、語学を生かして通訳や翻訳等のボランティアを行う市民を登録し、依頼に応じ福岡市のイベントや学校における保護者面談などに派遣した。

- a 登録者数 124 名 延べ 153 名(複数言語での登録者計)

- b 登録言語数 18 言語

- c 延べ活動者数 58 名

(ウ) 国際交流ボランティア研修

語学ボランティア、ホストファミリーとして登録し活動を行っている国際交流ボランティアに対して、通訳および異文化コミュニケーションについての研修を実施した。

a 通訳研修

- ・ 日 時 令和2年10月11日(日) 10:30~12:00
- ・ 会 場 福岡市国際会館 第1会議室
- ・ 内 容 「外国人のための入国・在留・国籍に関する無料相談会」通訳研修
- ・ 講 師 福岡県行政書士会 永嶋恵美氏、中嶋稚枝子氏
- ・ 参加者 5名

b 国際交流ボランティア研修

- ・ 日 時 令和3年2月14日(日) 10:00~12:00
- ・ 会 場 早良市民センター 会議室
- ・ 内 容 「異文化コミュニケーション」
- ・ 講 師 西南学院大学外国語学部教授 宮原 哲氏
- ・ 参加者 13名

ウ 語学等を通じた国際理解

(ア) 留学生から学ぶ外国語教室

感染症の影響により、例年対面で開講している教室は中止としたが、オンライン及び独自制作した動画を活用した教室の試行を行い、交流の有効な手段の一つである「言葉」の習得の機会を提供した。

また、感染防止対策を行いながら、留学生との交流を通じて、子どもたちが、英語に慣れ親しむ機会を提供するイベントを開催した。

a 留学生から学ぶ外国語教室オンライン

- ・ 期 間 令和2年7月8日(水)~7月17日(金)
- ・ 方 法 オンライン
- ・ 内 容 インドネシア語 2回、ヒンディ語 2回
- ・ 講 師 外国人留学生
インドネシア語：ラハマン ムハンマド アウリア氏
ヒンディ語：パンシュル シャルマ氏
- ・ 参加者 30名

b 動画で学ぶ外国語教室

- ・ 期 間 令和2年10月~
- ・ 方 法 財団ホームページに掲載
- ・ 内 容 インドネシア語 4回
(挨拶・自己紹介、旅行で使うことば、会話を始める、インドネシア料理)
ヒンディ語 4回
(インドの紹介、挨拶・自己紹介、旅行で使うことば、インド料理)
- ・ 講 師 インドネシア語：ラハマン ムハンマド アウリア氏

ヒンディ語：パンシュル シャルマ氏

- ・ 閲覧数 1,638 回
- c 留学生といっしょ!英語でクリスマス
 - ・ 日 時 令和2年12月20日(日) 10:30~12:00(午前の部)
14:00~15:30(午後の部)
 - ・ 内 容 留学生ボランティアが市民(子ども)に英語の絵本読み聞かせや、一緒に工作、ゲームを通して楽しく交流した。
 - ・ 参加者 午前の部:子ども17名、同伴者16名、留学生11名
午後の部:子ども8名、同伴者10名、留学生8名

(イ) フランス語講座

福岡市の姉妹都市であるフランス・ボルドー市との交流を促進するため、アンスティチュ・フランセ九州と共催でフランス語講座を行い、フランス語を習得する機会を市民に提供した。

- a 主 催 アンスティチュ・フランセ九州
- 共 催 (公財)福岡よかトピア国際交流財団
- b 事務局 アンスティチュ・フランセ九州内
- c 実施時期 年4回(春、夏、秋、冬) 各3か月
- d 講座数 231 講座
- e 受講者 1,255 名

(ウ) 外国人による日本語スピーチコンテスト

外国人に日本語を学ぶことを奨励するとともに、日本人と外国人の相互交流・相互理解の場を提供するため、日本語スピーチコンテスト実行委員会と共催して無観客でコンテストを開催した。なお、コンテストの様子は、映像を動画配信する形で一定期間公開した。

- a 主 催 日本語スピーチコンテスト実行委員会
- 構成団体 日本語学校及び日本語教室 14 団体
- 共 催 (公財)福岡よかトピア国際交流財団、福岡市、
福岡外国人学生支援の会
- b 事務局 (公財)福岡よかトピア国際交流財団内
- c 実施方法 コンテストの動画を一定期間オンライン配信で公開
- d 実施日 開催:令和2年12月12日(土)
配信:令和2年12月22日(火)~令和3年1月5日(火)
- e 出場者 10 名
- f 視聴回数 4 動画 合計 1,163 回

(エ) 国際理解教育講師派遣

青少年の国際理解の推進・国際力の育成を目的として、福岡県内の小・中学校等へ留学生等を講師として派遣した。

- a 主 催 福岡国際理解教育講師派遣事業協議会
- 構成団体 (公財)福岡よかトピア国際交流財団、(公財)福岡県国際交流センター、(公財)北九州国際交流協会
- b 事務局 (公財)福岡県国際交流センター内
- c 実施時期 令和2年4月~令和3年3月

- d 派遣人数 延べ 7 校へ 15 名(福岡市内)
- e 参加児童・生徒 1,703 名(福岡市内)

エ 国際交流団体のネットワーク推進等

(ア) 福岡国際関係団体連絡会(FUKU-NET)

福岡都市圏の国際交流・協力を行う様々な団体のネットワーク組織で、各団体間の連携を図り、地域の国際化の推進に寄与することを目的として、総会・連絡会及び加盟団体を紹介するパネル展などを開催した。

- a 主 催 福岡国際関係団体連絡会
- 構成団体 (公財)福岡よかトピア国際交流財団等 67 団体
- b 事務局 (公財)福岡よかトピア国際交流財団内
- c 実施時期 総 会 4月(書面決議)
- 連絡会 4月、7月、9月、12月、2月
- パネル展 2月(福岡市役所1階ロビー)
- d 参加人数 147 名(会員参加 86 名、一般参加 61 名)
- ※オンライン参加を含む

オ 国際交流推進

(ア) 姉妹都市等との連携・交流

姉妹財団である釜山国際交流財団と連携し、同財団が主催するイベントへの参加を行う事業については、感染症の影響により、参加できなかった。

(イ) 福岡市国際会館まつり

国際化事業の推進活動拠点である福岡市国際会館において、地域住民と在住外国人の相互交流・理解を深めるきっかけづくりのための交流イベント「福岡市国際会館まつり」については、感染症の影響により、中止した。

(ウ) 子ども向け交流イベント

財団の認知度向上に向けた新たな取組として、感染症の防止対策を講じたうえで、子どもを対象としたハロウィンイベントを開催し、手づくりの仮装をした子どもたちの記念撮影や留学生との交流等を行った。

- a 開催日 令和2年 10 月 30 日(金)
- b 参加者 留学生、子ども、親子連れなど 58 名

③ 在住外国人及び外国人学生を支援する事業

ア 一般相談・情報提供

国際交流・国際理解・国際協力に関する資料収集・情報提供ならびに外国人への生活情報の提供・相談などを実施し、ホームページや Facebook 上においても積極的に情報発信を行った。

「福岡市外国人総合相談支援センター」においては、電話通訳サービス導入による対応言語を18言語から20言語に拡充し、外国人等からの相談対応を行った。

(ア) 窓口相談・電話相談

英語、中国語、韓国語、日本語のほか、電話通訳で 20 言語対応

- a 相談件数(来所、電話) 1,537 件(うち外国人 651 件)

(イ) 無料 Wi-Fi の利用提供

- α 福岡市国際会館1階及び4階国際交流フロア

(ウ) 図書、新聞、パンフレット等の資料収集・提供

- α 図書貸出数 165 冊

(エ) 外国語情報紙(英・中・韓)の発行

- α 英語版 4,500 部/隔月、中国語・韓国語版 各 2,000 部/隔月

(オ) ホームページ、Facebook 及びメールマガジンによる情報提供

- α メールマガジン登録者数 1,679 名

(カ) リビングイン福岡及びにほんご Class Map の発行

- α リビングイン福岡 ホームページに掲載
- b にほんご Class Map 3,300 部(令和 2 年 10 月発行)

イ 外国人専門相談

在住外国人の生活上の諸問題について、専門家による無料相談会を実施した。

(ア) 外国人法律相談

法律、慣習や文化の違いから、紛争解決に関して一般的に弱い立場に置かれがちな外国人に対し、福岡県弁護士会と共催で法律的な助言、情報提供を行い、必要に応じて通訳を手配した。予約制で月2回(第1土曜日・第3水曜日)開催した。

- α 実施回数 18 回
- b 相談者数 28 名(13 か国)

(イ) 外国人のための入国・在留・国籍に関する相談

外国人の在住のために不可欠な在留資格や住民登録等の行政手続きに関し、福岡県行政書士会と共催で正確な情報提供と助言をした。英語と中国語の通訳が常駐し、月1回(第2日曜日)開催した。

- α 実施回数 12 回
- b 相談者数 58 名(18 か国・地域)

(ウ) 外国人心理カウンセリング

言葉の問題や生活環境の違いなどから精神的問題を抱える外国人を対象に、問題の解決に向けた心理カウンセリングを、臨床心理士が日本語または英語で行った。予約制で、週3回(月・火・木曜日)開催した。

- α 実施回数 延べ 336 回
- b 相談者数 37 名(12 か国)

ウ 外国人向け広報ラジオ番組

外国人に対して、財団が行う事業や福岡市国際会館のPRを、福岡の外国語放送ラジオ局であるラブエフエムを通じて、英語・中国語・韓国語・ネパール語・ベトナム語の5カ国語で広報した。

(ア) フクオカシティインターナショナルセンター・インフォメーション(3分番組)

財団が行うイベント情報や生活情報等を、毎月第4週の月、火、水、木、金曜日に放送した。

- ・放送回数 60 回

(イ) スポットCM(20 秒番組)

福岡市国際会館の外国人向けサービスの紹介を、春秋(4、9、10、3 月)に集中的に放送した。

・放送回数 186 回

エ 在住外国人のための日常生活アドバイス

福岡での在住外国人の快適な生活を可能にするとともに、日本人市民と外国人市民双方の暮らしの安心感を高めるため、新たに福岡に来た外国人を対象とした自転車の交通ルール、ごみ出しルール、防犯に関する出前講座を行った。また、DVD、インターネット動画による日本での生活に必要なルール、暮らしのヒントや防災知識の普及を行った。

(ア) 実施主体 (公財)福岡よかトピア国際交流財団、
福岡市(市民局、環境局、各区役所)

(イ) 実施件数 4 件

(ウ) 受講者数 266 名

オ 国際交流フロア及び留学生宿舍管理運営

国際交流フロアについては、卓上パーテーションの設置や換気、利用後の机、椅子等の消毒など感染防止対策を徹底しながら、国際交流の促進に資する事業を行う場として提供した。なお、福岡県内の緊急事態宣言発出に伴い、令和2年4月4日から同年5月31日まで国際交流フロアの利用を中止した。

福岡都市圏の大学に在籍の留学生を対象とした宿舍については、感染症に関する注意喚起、情報提供を行うとともに、食事室等の共用スペースにおいて感染防止対策を行いつつ、比較的安価で良質な住居を提供した。

なお、施設の老朽化や感染防止対策として、国際交流フロア及び留学生宿舍の施設の一部改修や備品購入等を行った。

(ア) 施設概要 4 階 国際交流フロア (貸会議室等5室)
5 階 世帯用宿舍 (2DK 5戸)
6-9階 単身用宿舍 (1ルーム 54戸)

(イ) 国際交流フロア利用件数 676 件
利用者数 4,415 名

(ウ) 施設改修内容 国際交流フロアトイレ改修、留学生宿舍水道バルブ取替等

カ 「あったか福岡」外国人学生支援

外国人学生が有意義な生活を送ることができる環境づくりを推進するため、「福岡外国人学生支援の会」と共催で事業を行い、外国人学生の生活の安心感の向上を図った。

(ア) 主 催 福岡外国人学生支援の会
共 催 (公財)福岡よかトピア国際交流財団

(イ) 事 務 局 (公財)福岡よかトピア国際交流財団内

(ウ) 実施内容

α 外国人学生を対象としたアンケート調査

福岡市内の外国人学生からモニター1,000人を募集し、新型コロナウイルス感染症の影響や災害時の対応、財団の事業等に関するアンケート(6か国語)をWeb方式で実施し、調査結果を公表した。

- ・ 調査期間 令和2年7月15日～7月16日
- ・ 調査件数 999件

b 日本語おしゃべりサロン

感染症の影響により、外国人学生が会場に自由に出入りして参加できる日本語おしゃべりサロンは中止し、オンラインによる日本語おしゃべり交流会を開催した。

- ・ 実施回数 5回(9月、12月、1～3月開催)
- ・ 参加人数 53名

c 外国人学生が語るふるさとの街と福岡 毎月第3木曜日

- ・ 実施回数 4回(10、11、12、3月)
- ・ 参加人数 76名

d 外国人学生歓迎交流事業

感染症の影響により、中止した。

キ 日本語ボランティア養成講座

感染症の影響により、民間ボランティア団体が運営している多くの日本語教室が長期にわたって運営できない状況が続いたことを受け、例年対面で実施している「日本語ボランティア養成講座」の代替として、「Zoom 初心者向け体験会」を開催した。また、「日本語ボランティア養成講座スキルアップ研修」では、オンライン教室普及のきっかけづくりとして、「オンライン授業のコツ」をテーマに開催した。

(ア) Zoom 初心者向け体験会

- a 実施時期 令和2年10月6日～10月20日(全3回)
- b 会場 SRP Open Innovation Lab SOIL イベントスペース
- c 受講者数 8名

(イ) 日本語ボランティア養成講座スキルアップ研修

- a 実施時期 令和3年3月26日
- b 会場 福岡市国際会館4階、オンライン(Zoom)同時開催
- c 受講者数 27名

ク 地域の国際交流

生活者としての外国人が増加する中、在住外国人が地域において共生するための相互理解を目的に、共生コーディネーターが区役所や日本語学校等と連携して在住外国人を含む地域住民の出会いや交流促進を支援する「地域の国際交流」については、交流事業の実施に向けて協議・調整を行ってきた5事業が、感染症の影響により中止となった。

また、国際交流ボランティアの拡充を検討する中で、地域の国際交流や災害時の外国人支援活動を、令和3年4月からスタートする「外国人支援ボランティアバンク」の新たな活動分野として位置づけるなど、次年度に向けて支援体制の充実を図った。

ケ 災害時における外国人支援

災害時における在住外国人への情報提供などを円滑に行うため、福岡市との協定に基づき、福岡市が財団内に設置する「福岡市災害時外国人情報支援センター」を運営する。

(ア) 設置回数 0 回

(イ) 設置訓練・研修

一般財団法人自治体国際化協会及び九州地区地域国際化協会とともに福岡市内で大規模な地震を想定したセンター設置訓練及びオンラインを利用した各協会からの受援訓練等を実施した。

a 実施時期 令和2年10月 23 日(金)

b 会 場 福岡市国際会館 4 階

c 会場参加 24 名(福岡県、福岡市、福岡県国際交流センター、当財団)

d 参加団体 16 団体(九州各県の国際部局、地域国際化協会職員)

④ グローバル人材を育成する事業

以下ア～ウの外国人留学生向けの奨学金については、感染拡大の影響で留学が決まっても来日できない場合は、申請期間の延長(最大2か月)や海外とのオンラインでの選考面接を行った。また、奨学生決定後の定期面談等も、感染拡大の状況に応じて、対面又はオンラインで実施し、コロナ禍における各奨学生の生活全般へのサポートを行った。

ア 福岡市国際財団奨学金

海外から新たに福岡へ留学し、福岡での就業・創業を希望する外国人留学生の学習環境を整え、留学生と市民との交流の機会を増やし、地域の国際化と地元定着の促進に寄与するために奨学金を給付した。

(ア) 給付金額 50,000 円/月

(イ) 給付人員 25 名

(ウ) 給付対象期間 学部4年間(歯学部は 6 年間)/修士2年間

イ よかトピア留学生奨学金

前身の(公財)よかトピア記念国際財団からの寄付金をもとに、地場企業での就業体験を通じた海外高度人材の地場企業への定着と、地域の国際化・活性化に寄与するため、福岡で就業を希望する留学生に地場企業での就業体験の機会を提供するとともに、奨学金を給付した。

(ア) 給付金額 60,000 円/月

(イ) 給付人員 1 名

(ウ) 給付対象期間 1 年間

ウ 留學生育英奨学金

福岡都市圏で学ぶ留學生が安心して勉学に励むことができる環境づくりを生活資金面から支援するため、団体や企業、個人からの寄付金により奨学金を給付した。

- (ア) 給付金額 500,000 円／年または 300,000 円／年
(寄付者の希望により決定)
- (イ) 給付人員 15 名
- (ウ) 給付対象期間 寄付者の希望により決定(1 年単位以上)
- (エ) 奨学金創設者 8 団体

エ 日本人大學生留学奨学金(スタートアップ奨学金)

日本人大學生を対象に、国際社会で活躍できるグローバル人材として育成し、福岡の国際競争力を強化する人材として福岡へ定着させるために貸与している奨学金事業は、4 名を奨学生として認定したものの、感染症の影響により留学が中止となり貸与ができなかった。

しかしながら、奨学生の福岡での創業・就職を促進するため、就職活動に関する様々な情報提供やオンライン面接による生活全般へのサポート、福岡商工会議所と共同で奨学生福岡定着事業等を実施した。

- (ア) 貸与金額 最大 1,200,000 円/年
(留学先及び期間により異なる。福岡で創業または就職した場合は返還免除。)
- (イ) 貸与人員 0 名 ※感染症の影響により全員辞退(令和元年度は 7 名)
- (ウ) 交流会 感染症の影響により中止
- (エ) 認定証交付式 令和 2 年 7 月 21 日(火)
- (オ) 奨学生福岡定着事業 帰国後研修 令和 2 年 10 月 24 日(土)
留学前研修 令和 3 年 2 月 13 日(土)
その他のフォローアップ 随時実施

オ 留學生のための就活トークセッション

福岡での就職・創業を希望する留學生を対象に、地場企業の人事担当者や外国人起業家、地場企業に就職した元留學生をパネリストに迎え、「コロナ禍におけるグローバル人材の育成・定着」に関するパネルディスカッションや、パネリストと参加者との意見交換会を開催し、留學生の福岡での就職・創業を支援する新たな機会を創出した。なお、当日の様子は、映像を動画配信する形で公開した。

- (ア) 開催日 令和 2 年 11 月 25 日(水)
※動画配信期間:令和 2 年 12 月 15 日(火)~同 3 年 2 月 28 日(日)
- (イ) 会場 アクロス福岡 円形ホール
- (ウ) 参加者 留學生 18 名、企業等 15 名(9 社)
- (エ) 共催 福岡外国人学生支援の会
- (オ) 後援 福岡県留學生サポートセンター運営協議会

カ 留学生と企業との交流サロン

福岡で就職を希望する留学生と、グローバル人材としての留学生に関心を持つ地場企業を対象に、留学生が日本及び福岡で働きたい理由や、地場企業が留学生に期待すること等について自由に話し合う交流会を経済団体等と共催で開催した。

(ア) 実施日 ①令和２年１２月４日(金)

②令和２年１２月８日(火)

(イ) 参加者 ①留学生１５名、企業１５社(１６名)

②留学生 ７名、企業１２社(１２名)

(ウ) 共 催 福岡県留学生サポートセンター運営協議会、福岡外国人学生支援の会

①福岡・大連未来委員会

②福岡県中小企業家同友会

(3) 事業報告の附属明細書

記載すべき事項は、ありません。

【理事会及び評議員会の開催状況等】

会議名	開催日	内 容
理事会	R2.4.1	議案審議（決議の省略による） ・理事・監事の推薦に関する件 ・事務局長の任免に関する件 ・評議員会の開催に関する件
評議員会	R2.4.1	議案審議（決議の省略による） ・理事・監事の選任に関する件
理事会	R2.4.1	議案審議（決議の省略による） ・専務理事の選定に関する件
理事会	R2.6.22	議案審議（決議の省略による） ・令和元年度事業報告及び決算に関する件 ・定時評議員会の開催に関する件 ・特定資産の保有に関する件
評議員会	R2.6.30	報告 ・令和元年度事業報告及びその附属明細書に関する件 ・令和2年度事業計画及び収支予算に関する件 議案審議（決議の省略による） ・令和元年度貸借対照表、正味財産増減計算書、これらの附属明細書及び財産目録に関する件
理事会	R2.9.30	議案審議（決議の省略による） ・評議員の推薦に関する件 ・評議員会の開催に関する件
評議員会	R2.10.1	議案審議（決議の省略による） ・評議員の選任に関する件
理事会	R3.3.19	議案審議 ・中期経営方針(案)に関する件 ・令和3年度事業計画及び収支予算(案)等に関する件